

第2回 玉津小学校 学校運営協議会  
(兼 児童生徒をまもり育てる協議会)

令和5年6月22日

1 児童生徒をまもり育てる日について

事務局

(設定の趣旨、目的、活動日、活動内容について説明)

活動日は、県内一斉の活動日となっており、入学の日、7月5日、11月5日の3日間である。今年は11月5日が日曜日であるため、6日となっている。

2 児童の日々の様子について

生徒指導主事

(学校の教育目標)

ふるさとを愛し、正しく明るく強い児童の育成

(校訓)

正しく (よいと思ったら進んで行動)

明るく (明るくあいさつ、ありがとう)

つよく (失敗を忘れずチャレンジ)

苦しさ、しんどさに負けない心を育てたい

(1) 本校の1学期の活動の姿から

- ・ 学年の隔てなくだれとでも仲良くする集団の関係性が築かれている。
- ・ 1年生を迎える会では、全員でだるまさんが転んだ等を行い、学年の垣根を越えて、楽しく実施した。
- ・ 運動会では、6年生を中心に一致団結していた。たくましく成長している様子が伺えた。

(2) 愛情あふれる保護者の皆さんと地域の情熱

- ・ 子どもの感想の中にも親子リレーが1番心に残ったとのことである。
- ・ 地域、保護者、小学生の一体感があり、玉津の地域の良さが表れていた。
- ・ 環境整備においては、樹木の伐採、窓掃除など、校庭、校舎がきれいになり、子ども達も喜んでいた。

(3) 子ども達の作品から

- ・ (短歌)「楽しみは、家に帰ってお母さんとバレーの練習を庭でする時」
- ・ (短歌)「楽しみは、家族とご飯を食べながら、一緒に話し、笑いあう時」
- ・ (作文) わんぱく広場でサバイバル飯を一生懸命作り、みんなで分けて一緒に食べた。

- ・ 地域の方々、保護者の皆さんの温かい支援が子どもたちに伝わり、健全なところが育っている。
- ・ 自分たちの身の回りのものに愛情を感じている。
- ・ 様々な活動を通して、地域への愛着の心が育っている。
- ・ 玉津小学校と温かみのある地域・保護者のかかわりが心を育てている。

(4) 自転車の乗り方

- ・ 自転車に乗ってもよい範囲は、1～3年生（自宅近隣）4～6年生（原則校区内に可能）この他の場所については保護者の許可、保護者の責任の範囲でお願いする。

3 児童を守る取組についての熟議（グループ協議）

- 自己紹介
- 児童の行動等、気になること
- 児童の見守り活動
- 児童の交通安全について（歩き方、自転車の乗り方など）

A・Bグループより

- ・ 1年生は自転車に乗らない方がよいのではないか。PTAとの協議で決めたい。
- ・ 自転車に乗れる場所の選定は、どのようにすればよいか。決まりを増やすことによって、児童一人一人の危機管理能力が弱くなるのではないか。子ども達の自己管理能力を育てることが大切である。

C・Dグループより

- ・ アンケートでは、子どもたちの本音を聞けるようにすることが大切である。
- ・ ストレスを抱えている子どもたちに向き合うのは難しい。
- ・ 地域、学校とともに、子どもの居場所作りが大切である。
- ・ あいさつがよくできている。また、中学生、高校生もよくあいさつをしてくれる。
- ・ 通学路に危険な個所があり、気を付ける必要がある。

E・Fグループより

- ・ 公民館で遊んでいる時に、ごみの片づけができない児童がいる。
- ・ かごに荷物を入れたままの状態があり、荷物の管理をしてほしい。
- ・ 自転車の乗り方としては、土曜日、日曜日にヘルメットをかぶっていない児童がいる。

4 学校評価について

事務局

- ・ 学校評価の趣旨説明事務局

5 運動会を振り返って

事務局

（運動会アンケート … 34 家庭中 22 家庭より回答あり）

(1) 日程について                      よい (13)              要改善 (9)

- ・ 午前中で終わらせほしいという意見が多かった。来年度に向けて、公民館と協議して決定する。

(2) 競技内容について                  よい (19)              要改善 (3)

- ・ 分館リレー、職域リレーについては、今後、公民館と協議する。